

インドネシアにおける「やまなし魅力説明会」の開催について

平成30年8月
山梨県観光部国際観光交流課

1 はじめに

山梨県では、県産品の販路拡大や外国人観光客の誘致を図るため、海外の有望市場において知事によるトップセールスを実施しています。

今回、機会をいただきましたので、本年7月にインドネシア・ジャカルタで「地方の魅力発信プロジェクト」を活用させていただき実施した「やまなし魅力説明会」についてご紹介させていただきます。

2 「やまなし魅力説明会」

平成30年7月16日の11時から13時にかけて、在インドネシア日本国大使館と共催で、ジャカルタの在インドネシア日本国大使公邸において、「やまなし魅力説明会」を開催しました。

当日は、メディア、旅行会社、流通事業者など104名の出席のもと、最初に後藤齋山梨県知事が挨拶し、山梨県は世界遺産富士山をはじめとする3千メートル級の山々に囲まれ、豊かな名水を生み出していること、その名水がモモやブドウ、日本酒やワインを育み、海外からも高い評価を得ていること、2027年にはリニア中央新幹線が開通し、産業面や観光面での更なる発展が期待されること等を紹介しました。

後藤知事の挨拶に続き、石井正文大使から、今年は日本とインドネシアの国交樹立60周年にあたることから、両国の交流を一層深めるなかで、本説明会を山梨県の魅力を知っていただく良い機会にしてもらいたい旨の挨拶をいただきました。



【後藤知事挨拶】



【石井大使挨拶】

その後、山梨県の国際交流員が、山梨県の豊かな自然や景勝地、食、お祭りといった魅力を伝えるプレゼンテーションをインドネシア語で実施しました。

交流会に移る前には、石井大使、後藤知事及び同行事業者がステージに登壇し、山梨県で毎年4月に開催され、ギネスブックにも登録されている世界最大の侍パレード、「信玄公祭り」の「出陣の合図」になぞらえて、来場者の皆様と一緒に「エイ、エイ、山梨！」の勝ちどきを上げ、会場との一体感を築きました。



【山梨県プレゼンテーション】



【出陣の合図】

観光ブースも賑わいを見せていましたが、「フルーツ王国」を自負する山梨県として、今年から試験的にインドネシアへの輸出が開始されたモモとブドウを、来場者の皆様に味わっていただくために用意した県産品ブースは、大変賑わっていました。

特に、インドネシアにも進出している県内食品メーカーの協力のもと、山梨県産の「シャインマスカット」と「ピオーネ」を使ったケーキを提供した一角には、交流会が始まると同時に長い列ができ、皆様から高い評価をいただきました。今後、フルーツ狩りなどの誘客促進に繋がるものと期待しております。

また、現地の民間放送局(メトロ TV)から知事が直接インタビューを受ける等、多くのメディアの方々に本説明会を取り上げていただき、山梨県の認知度向上に向けて大きな成果を得ることができました。



【県産品ブース(モモ・ワイン)】



【県産品ブース(ブドウ)】

3 おわりに

今回、在インドネシア日本国大使公邸での「やまなし魅力説明会」が成功裡に終わりましたのは、ひとえに在インドネシア日本国大使館をはじめ、関係者の皆様の支援のおかげによるものです。この場をお借りして、石井大使をはじめ、大使館の皆様に心から感謝申し上げます。